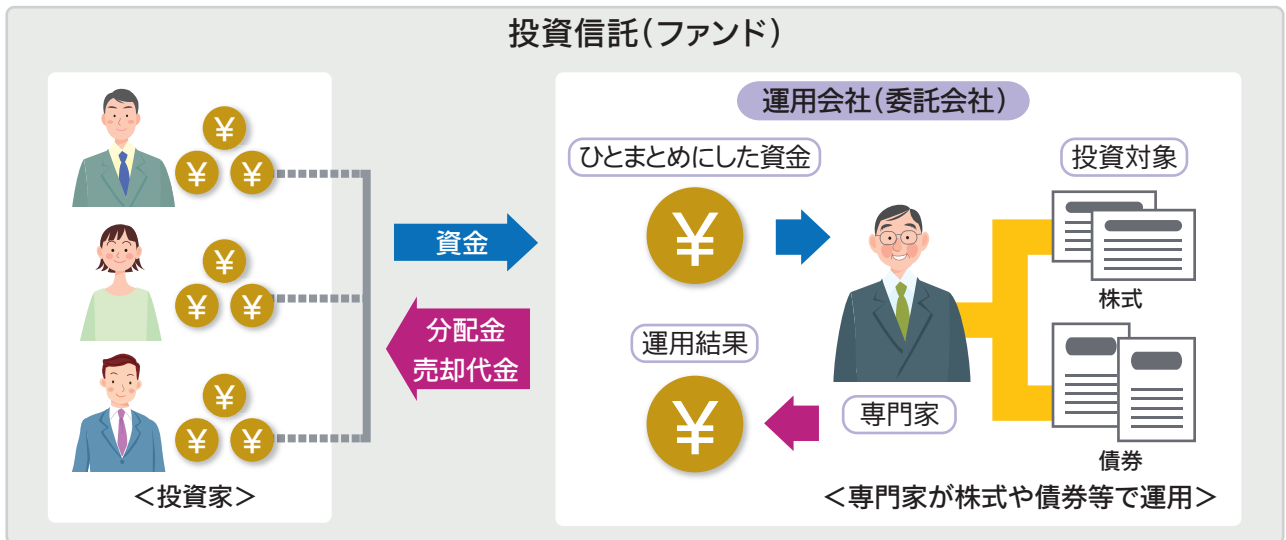


商品のしくみ

多くの投資家から集められた資金をひとまとめにし、運用の専門家(運用会社)が株式や債券等で運用する商品です。投資信託のことをファンドとすることがあります。

イメージ



例えば、さまざまな銘柄の株式を購入して分散投資を行う場合、ある程度まとまった資金が必要です。投資信託では、多くの投資家から集めたひとまとめの資金で運用するため1人ひとりの資金は少額でも分散投資を行うことができます。

期待できるリターン 分配金、売買損益

- 分配金とは… 運用で得た収益の一部を投資家に還元することがあります。この還元したお金のことを分配金といいます。DC制度では分配金が出た場合、自動的に再投資(同じ商品を購入)されます。

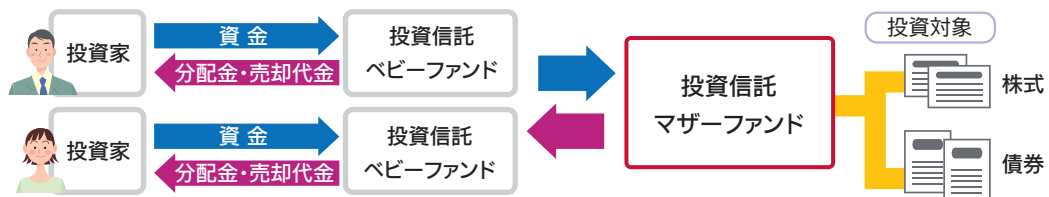
資産の保護

投資信託では、販売や運用、資産の管理という役割が分けられており、運用会社(委託会社)では、資産を預かりません。

資産は受託会社(信託銀行等)で信託財産として信託銀行等自体の資産とは分別管理されています。万一、信託銀行等が破綻した場合でも、資産が時価で保全されます。ただし、運用による損失額は対象外です。

ファミリーファンド方式

株式・債券等を直接の投資対象とせず、マザーファンドと呼ばれる投資信託に投資する方式です。マザーという名が示すように、このような投資方法により、同じ運用会社の投資信託(ベビーファンド)に集まった資金をまとめて運用します。これにより広く分散投資をし、費用を抑え効率的に運用することができます。



ファンド・オブ・ファンズ方式

投資信託に投資する投資信託で、同じ運用会社に限らず複数の投資信託を適切に組み合わせて、一つの投資信託にまとめたものをいいます。プロにより投資信託の選択がおこなわれ、異なるリスク特性の投資信託の組合せによる分散投資効果が期待できます。投資先の投資信託に対する信託報酬も間接的に負担することになります。